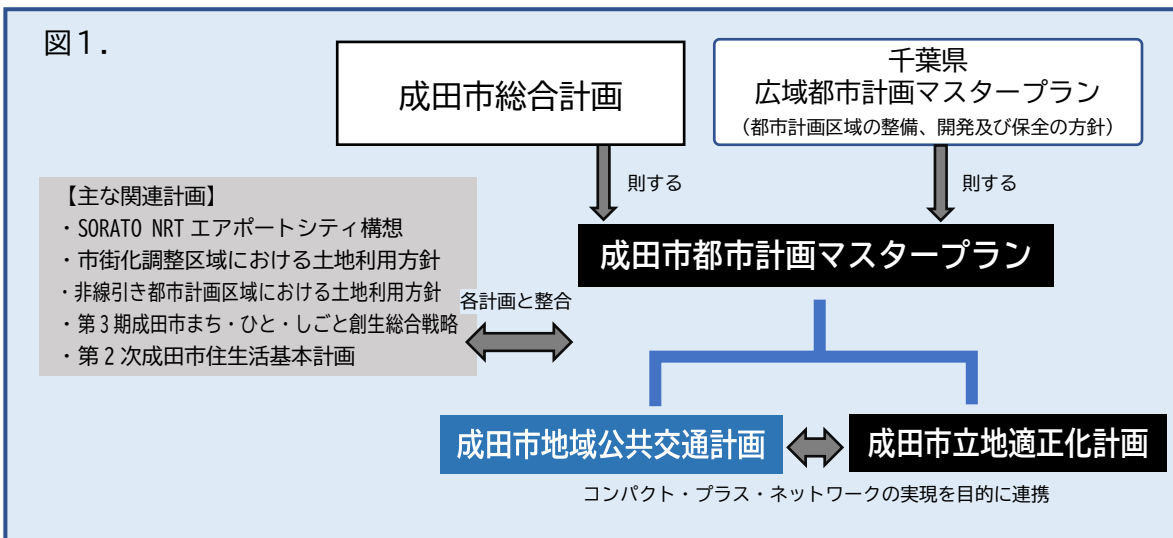


■次期成田市地域公共交通計画の策定について

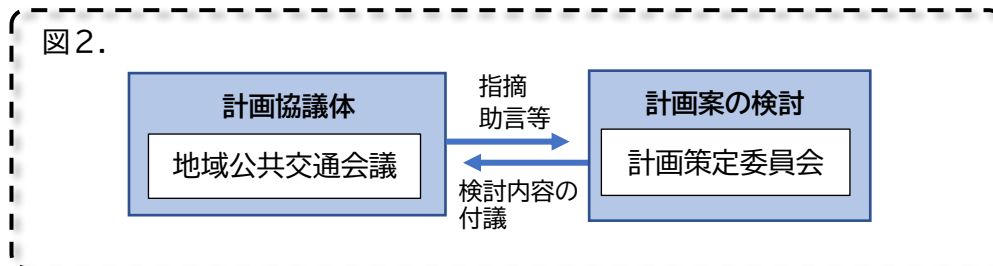
1. 成田市地域公共交通計画の位置づけと策定背景

本計画は、上位計画である成田市総合計画や成田市都市計画マスタープラン、関連計画である成田市立地適正化計画などとの整合性を図るとともに、コンパクト・プラス・ネットワークの実現に向けた、地域公共交通のマスタープランとなるものである。

次期計画においては、現行計画策定後の公共交通を取り巻く社会状況の変化と課題を的確に把握し、市民の移動ニーズに対応していくとともに、地域や交通事業者との共助の取組みの拡充を図ることにより、市民生活の質の向上と持続可能な地域公共交通の形成を目指し、本市の望ましい公共交通のあり方や方向性を定める。



2. 検討体制



3. スケジュール（予定）

令和8・9年度にかけて検討・協議し、令和10年3月策定予定。

図 3.

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
検討・協議	基礎調査・基本構想検討	目標及び指標作成・計画素案検討	計画案・事業調整
市民参画	住民意見の収集	パブコメ	計画実施
交通会議	★報告 ★中間報告	★素案 ★計画案	

※策定委員会については、原則として地域公共交通会議の前後に必要なに応じて開催予定。

4. 地域公共交通計画の策定方針

(1) 計画策定における主な視点

① 関連計画との整合

都市計画マスタープランに示す将来都市構造、立地適正化計画における居住・都市機能誘導の考え方と整合を図る。

② 現状と課題の的確な把握

公共交通の運行及び利用状況、地域特性、人口動向、施設立地等を踏まえ、現状における課題を整理する。

③ 拠点とネットワークの確保

成田駅周辺等の中心拠点を起点として、各地の地域拠点及び病院・商業施設などの主要施設を結ぶ公共交通体系を検討する。

④ 誰もが利用しやすい交通体系

通勤・通学・買物等の様々な移動を支える、誰もが利用しやすい交通体系を目指す。

⑤ 持続可能性の確保

需要、運行効率、財政負担、担い手確保等を踏まえ、将来にわたり持続可能な公共交通施策を整理する。

(2) 計画策定の進め方

① 現況整理・分析

人口動向、都市機能及び公共交通利用実態等の現況から、本市における交通課題を整理・分析する。

② 将来像・基本方針の設定

将来都市構造を踏まえ、地域公共交通が果たすべき役割と目指すべき姿を設定する。

③ 交通ネットワーク像の整理

幹線・支線・拠点循環等の考え方を整理し、地域公共交通ネットワークの方向性を示す。

④ 評価指標の設定

利用者数、満足度、運行効率及び人口カバー率等、進捗管理可能な評価指標を設定する。

⑤ 計画案の取りまとめ

地域公共交通会議等での協議を通じ、本市の望ましい公共交通の方向性を定めた計画案を取りまとめる。